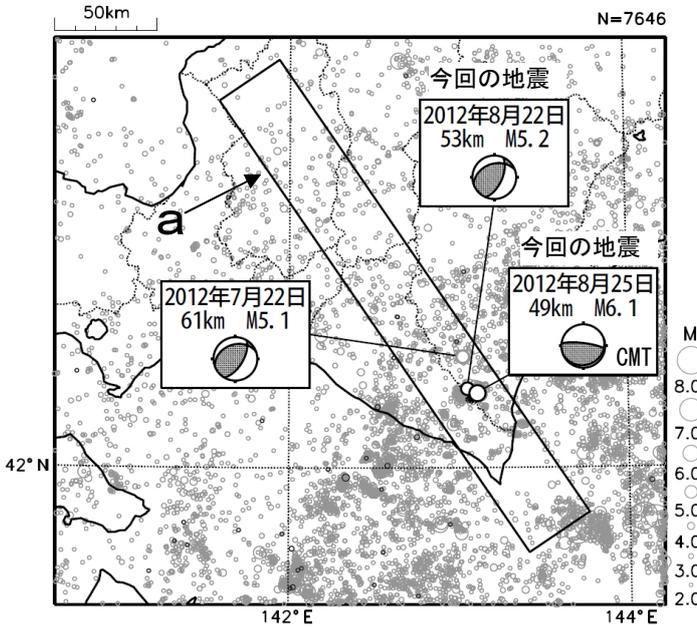


8月22日、25日 十勝地方南部の地震

震央分布図(2001年10月1日~2012年8月31日、
深さ0~200km、 $M \geq 2.0$)
2012年8月1日以降の地震を濃く表示

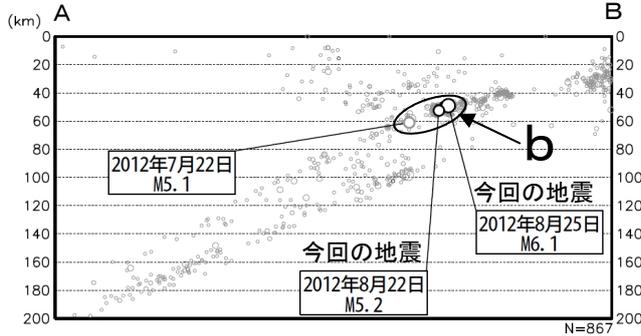


2012年8月22日10時33分に十勝地方南部の深さ53kmで $M 5.2$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。また、8月25日23時16分にも深さ49kmで $M 6.1$ の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震である。発震機構(CMT解)は南北方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。なおこれらの地震の震源付近では、8月31日現在も地震活動は継続している。

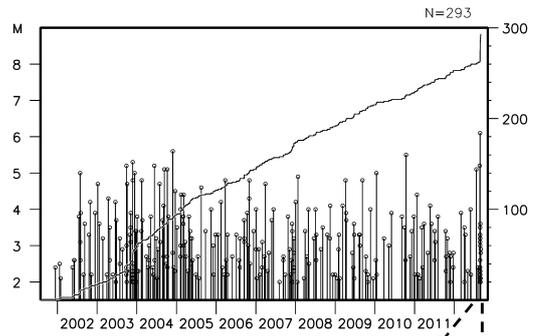
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では2012年7月22日に $M 5.1$ の地震(最大震度4)が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 5.0$ 以上の地震が度々発生している。最大は1970年1月21日の $M 6.7$ の地震(最大震度5)で、負傷者32人や住家の全壊2棟などの被害が生じている(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

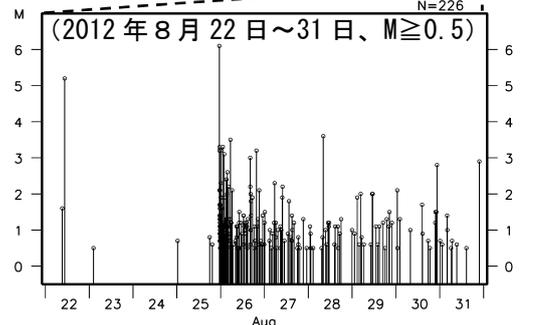
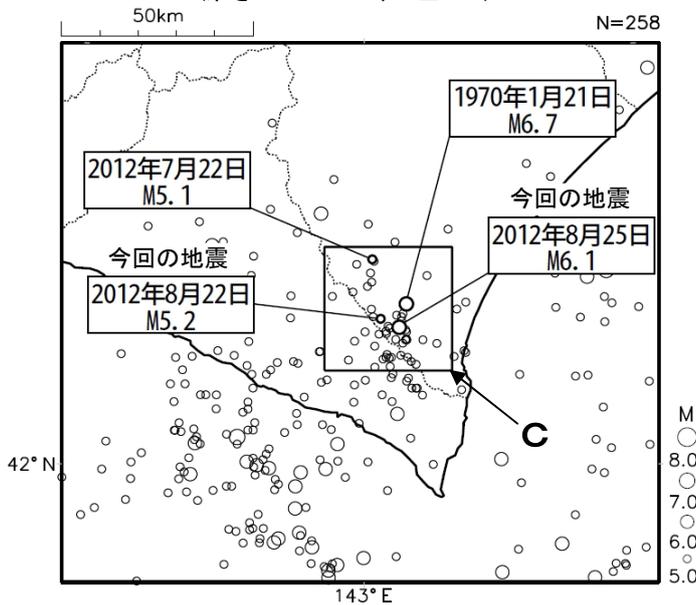
領域a内の断面図(A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図(1923年1月1日~2012年8月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

